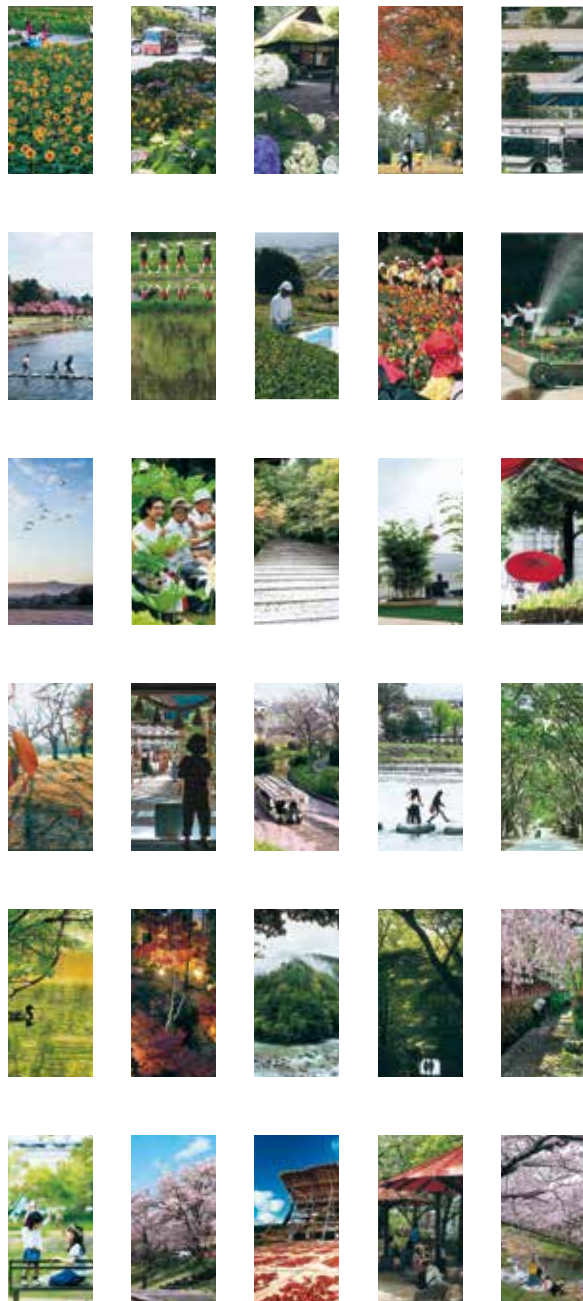
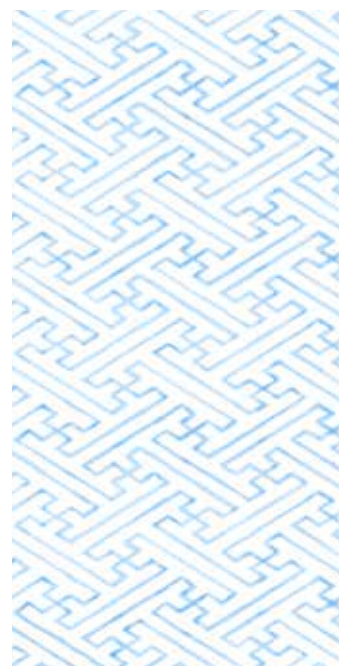
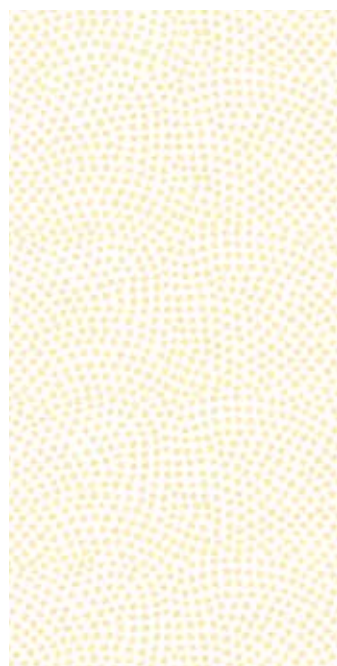




京都 まちとみどり 写真コンクール

入選作品集



京都まちとみどり

写真コンクール

緑は、大気の浄化、気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性和都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関する様々な行事を行っております。

この「都市緑化月間」の行事の一つとして、「まちの水と緑」、「まちの緑と公園」、「緑とのふれあい」など都市緑化をテーマとした京都府内の写真を募集し、「第33回京都まちとみどり写真コンクール」を行いました。今回は特別賞として「宇治原町長賞」を設け、404点の応募作品の中から入賞・入選作品30点を選びました。

主催 京都府都市計画協会

共催 京都府、京都市
(公財) 京都府公園公社
(公財) 京都市都市緑化協会
(一社) 京都造園建設業協会

第33回 京都まちとみどり 写真コンクール

入賞・入選作品一覧

賞	題名	氏名
京都市府知事賞	ひまわりに囲まれて	白木 文枝
京都市市長賞	街中の彩り	居原田 晃嘉
特別賞（宇治原町長賞）	アジサイの名所	八木 泰博
(公財) 京都府公園公社理事長賞	駆けっこ	川口 重一
(公財) 京都市都市緑化協会理事長賞	緑のオフィス	長岡 隆男
(一社) 京都造園建設業協会会長賞	賀茂川桜堤	小原 正義
京都府市長会会長賞	お田植えの里	海道 肇一
京都府町村会長賞	新茶の季節	富永 良明
京都新聞賞	お花も園児もまるくなって！	深井 征子
KBS京都賞	水あそび	谷 八紘
エフエム京都賞	里の夜明	田村 宏
NHK京都放送局賞	蓮酒を楽しむ	北川 茂博
佳作	奥まで遠い階段	松本 龍大
	やさしい京都タワー	伊藤 友津
	晩秋	相川 善行
	初秋の溪谷	井上 敏和
	春の寸描	王鞍 謙一
	まちかどのオアシス	岡本 一高
	それぞれの可愛がり	奥村 博己
	子供の日	片山 智士
	宵の錦秋	金井 正顕
	森を行く！	橘 初雄
	霧雨の河原町	田中 靖人
	初夏への入口	土屋 哲
	新緑に染まる池	中村 多克
	郷土の色の柿屋	西野 恵利子
	水辺の賑わい	西 橋 弘
	沢山の風鈴やなあ〜	松山 俊弘
	桜吹雪の瞬間	三宅 憲二
	十石舟で酒蔵探訪	山本 正治

(敬称略)

京都府知事賞



ひまわりに囲まれて

白木 文枝

撮影場所：ひまわり畑（与謝郡与謝野町）

〔講評〕少し高台からの撮影が良かったですね。夏のひまわり畑という感じ。コントラストを利かせ画面全体にピントがガッチリと合っていると、目にひかれ、見た者にそう思わせます。また、ひまわりの花の黄色と葉の緑が画面いっぱいに広がる様子は、印象派の絵画のようにも見えます。その中で、ヨガを楽しめる方々、夏の暑い屋外にいても気持ちいいのですね。ダイナミックで、ドッと目に飛び込んでくる良い写真です。今回初めての応募とのことですが、来年も是非、作品をお出してください。

京都市長賞



街中の彩り

居原田 晃嘉

撮影場所：御池通（京都市中京区）

〔講評〕正に都会の中に緑がある風景。車が行き交う大通りの沿道に植えられた紫陽花など花々がオアシスとなって、人々を癒しへの世界に連れて行ってくれるような写真です。思い切って花々を画面いっぱいにすることで、まちの中にある緑の良さを訴える作品となっています。そして、花々に注ぐ木漏れ日が心地よさを誘い、京都のまちに岡崎ループバスが走る、まさしく「まちとみどり」の写真です。

特別賞（宇治田原町長賞）



アジサイの名所

八木 泰博

撮影場所：永谷宗円生家（綴喜郡宇治田原町）

〔講評〕大きな紫陽花を手前に大きく配置する事で、紫陽花の名所を象徴し、その奥に永谷宗円の生家を配置する事によって「日本緑茶の発祥の地」宇治田原町を紹介する、誠に理にかなった写真です。「おいでやす、宇治田原」ですね。この写真を見て、宇治田原町の歴史を見に行ってみたくなったという方も出て来られると思います。ただ、写真の完成度から見ると、少し傾いた写真である事が残念です。これからは、垂直を意識して写真撮影を楽しんでください。

（公財）京都府公園公社理事長賞



駆けっこ

川口 重一

撮影場所：太陽が丘（宇治市）

〔講評〕夏の暑さから解放され秋風が吹く頃になると、緑あふれる公園には、家から飛び出し楽しそうに走り回る親子たちが増えてきます。そういう気持ちにさせるのは、季節の移り変わりも一役かっているのでしょうか。しかし一番の立役者は、中央に大きく育った大木ではないでしょうか。何本もの大きく育った公園の樹々たちが、人を集め、人を豊かにしてくれる、そんな光景を写真が物語ってくれています。人と公園が繋がる写真を、作者は撮影されたと感じます。

（公財）京都市都市緑化協会理事長賞



緑のオフィス

長岡 隆男

撮影場所：右京区役所（京都市右京区）

〔講評〕昔、コンクリートジャングルと言われたことがありましたが、今では屋上に緑、ベランダにも緑を見かけることが多くなりました。緑は人の目を休ませてくれるアイテムになってきていますね。それを意識して、この写真を撮られたのだと思います。縦長の写真であれば、上部に広がりが出て、もっと作者の意図が伝わる写真になっていたかと思います。

（一社）京都造園建設業協会会長賞



賀茂川桜堤

小原 正義

撮影場所：半木の道（京都市左京区）

〔講評〕整備された桜並木の半木の道。春にはその桜を求めてたくさんの人々が憩う情景を写真に収めたいのだと推測します。春の風と鴨川の川の流れが、人々の心を癒し、飛び石を渡る楽しそうな声が聞こえてきそうです。強いて言えば、飛び石に沢山の人が集まって、もっと楽しそうな情景が撮影できれば、一味も二味も作者の意図が反映できたかと思います。粘ることも、良い写真が出来るコツです。

京都府市長会会長賞



—— お田植えの里 ——

海道 肇一 撮影場所：美山町北（南丹市）

〔講評〕まとまっていて、安心して見ることが出来る構図だと感じました。写真半分下には植えられたばかりの田んぼが、全体に落ち着き感を作り出していますし、お田植え祭の様子が描かれています。均等に並んで畦道を歩く早乙女の姿から、リズム感が出ています。田んぼの水に映る少しの足元が、そのリズムをアシストしているように見えました。先頭を歩く神主と巫女の白がアクセントとなっています。良い写真です。

京都府町村会長賞



—— 新茶の季節 ——

富永 良明 撮影場所：岩山（綴喜郡宇治田原町）

〔講評〕この入賞作品も、宇治田原町を題材にした写真です。宇治田原町は、お茶の生産だけではなく、最近は工業団地としても躍進する町になってきたと聞きました。町の農業工業の光景を写真の中で一つにまとめ、伝統産業と新しい工業を対比した写真となっています。ただ単に風景ではなく、お茶の葉を収穫している人を入れることで、季節感も感じられる作品になっています。

エフエム京都賞



—— 里の夜明 ——

田村 宏 撮影場所：郷之口（綴喜郡宇治田原町）

〔講評〕最初に写真を見た時、バックグラウンドミュージックが流れてくるように感じました。日の出と共に数羽のサギがはばたき、少し明るくなった空へ飛び立つ写真。FMから流れてくる音楽にマッチした風景ではありませんか。また、初めて行って撮れる写真ではないと確信しました。寒い冬に、何度も足を運んでこの光景に出会えたのだと思います。シャッタータイミングも良かった。すごく良い写真だと思います。これからも、お元気に写真を続けていただきたいと思います。

NHK京都放送局賞



—— 蓮酒を楽しむ ——

北川 茂博 撮影場所：三室戸寺（宇治市）

〔講評〕蓮に囲まれ、ハス酒。さぞ美味しいのだらうと、脳裏に文字が浮かびました。ハス酒を飲む人物には自然な笑顔が溢れ、楽しそうで美味しそうな写真です。撮影者はこの瞬間を狙ったのだと思います。ハス酒を楽しむ写真撮影が終わる頃には、撮影者もほろ酔いだったのでしょうか。そう想像してしまう写真です。また、手前の蓮の花と葉が良い仕事をしてきています。グッと画面に引き寄せてくれ、蓮に包まれているという効果が出ています。

京都新聞賞



—— お花も園児もまるくなって！ ——

深井 征子 撮影場所：京都市立植物園（京都市左京区）

〔講評〕パッと見た瞬間、鮮やかな写真だな、と思いました。でも奥から半円を描くように手前に流れてくる構図は、計算されているようにも見えました。チューリップの赤と黄色、園児の赤の帽子、黄色い服とのコラボレーションが全体を華やかにしています。こんな近くで写真が撮れるなんて、園児の遠足に付き添われましたか、と考えてしまいました。華やかさの中に、かわいらしさも隠れている写真だと思います。

KBS京都賞



—— 水あそび ——

谷 八紘 撮影場所：京都市立植物園（京都市左京区）

〔講評〕「撮影日は春」とコメントに書かれていました。とは言っても、水遊びには冷たく、まだ肌寒いのだらうと思います。でも、そんな事にお構い無しの子供たちは、自由に生き生きと散水栓から高く飛び出す水に大騒ぎ。女の子も走りよって、はしゃぎ回り、「わー」と楽しげな叫ぶ声が聞こえて来そうです。そして、家族の生き生きとした空間が切り取られている楽しい写真です。構図ですが、人物の外側の空間を詰めると全体がしまった画になり、子供たちの笑顔もはっきりと見ることが出来ると思います。

奨励賞



—— 奥まで遠い階段 ——

松本 龍大 撮影場所：光明寺（長岡京市）

〔講評〕長い長い階段を画面左右の黒い門が全体的に引き締めています。もう少し長い階段の奥行き感を出せば良かったかなと思います。高い位置からの撮影であれば、もっと奥行きが出たでしょう。また季節を変えて撮影すると、この写真とは違った、長い長い階段が出現すると思います。実は、驚いたことがあります。この写真の作者が9歳の男の子だったことです。カメラ小僧くん、頑張ってね。



—— やさしい京都タワー ——

伊藤 友津 撮影場所：京都駅（京都市下京区）

〔講評〕京都駅ビルの最上階の憩いの場所の写真は、「まちとみどり写真コンクール」の審査ではあまり見かけたことのないもので、新鮮な気持ちで見せていただきました。階段で休んでいる白シャツの人と左下の鳩と京都タワーの展望台を結ぶ3点が画面を引き締め、中央のこんもりとした竹の植木を際立たせています。欲を言うと垂直に注意し、右の竹と空を切り取るトリミングをして、主題をハッキリとさせたいですね。これからも新しい感覚で被写体を探しレンズを向け、撮影を続け頑張ってください。次回の応募を楽しみにしています。

佳作



「晩秋」相川 善行
撮影場所：嵐山東公園（京都市西京区）



「初秋の溪谷」井上 敏和
撮影場所：美山町「唐戸の溪谷」（南丹市）



「春の寸描」王鞍 謙一
撮影場所：坂原「和知」（船井郡京丹波町）



「まちかどのオアシス」岡本 一高
撮影場所：白川南通付近（京都市東山区）



「それぞれの可愛がり」奥村 博己
撮影場所：玉川（綴喜郡井手町）



「子供の日」片山 智士
撮影場所：鴨川（京都市中京区）



「宵の錦秋」金井 正顕
撮影場所：けいはんな記念公園（相楽郡精華町）



「森を行く！」橘 初雄
撮影場所：京都府立植物園（京都市左京区）



「霧雨の河原町」田中 靖人
撮影場所：京都市役所東側（京都市中京区）



「初夏への入口」土屋 哲
撮影場所：華厳寺「鈴虫寺」（京都市西京区）

佳作



「新緑に染まる池」中村 多克
撮影場所：京都府立植物園（京都市左京区）



「郷土の色の柿屋」西野 恵利子
撮影場所：立川（綴喜郡宇治田原町）



「水辺の賑わい」西橋 弘
撮影場所：新生洲町（京都市左京区）



「沢山の風鈴やなあ〜」松山 俊弘
撮影場所：正寿院（綴喜郡宇治田原町）



「桜吹雪の瞬間（とき）」三宅 憲二
撮影場所：滝（与謝郡与謝野町）



「十石舟で酒蔵探訪」山本 正治
撮影場所：宇治川派流（京都市伏見区）

第33回 京都まちとみどり写真コンクール講評

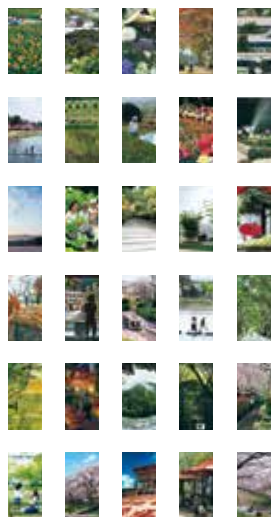
審査委員長 越智信喜（京都写真家協会）

総評

今年の「まちとみどり写真コンクール」には、例年と同じく 400 点を越える写真の応募がありました。審査には一日をかけて、写真の一つずつ丁寧にらせていただいておりますが、中には、当コンクールの趣旨に合わない作品もありました。次回は、まちの緑の良さや、その地域の魅力が伝わる作品、また写真を見てその地域に行ってみたい、暮らしてみたい、と思えるような作品の応募を期待しております。

フォトコンテストで入賞を勝ち取る早道は、まずコンテストのテーマをしっかりと理解すること、そして被写体をしっかりと観察して作品づくりをすることだと思います。最近のデジタルカメラを使い、シャッターボタンを押せば、写真を作ることができますが、その写真に魂を入れ、見た人に感動を与えるのは、写真撮影をされる皆さんです。

京都市内の緑はもちろん、京都府内の北部や南部にも、素晴らしいまちと緑がたくさんあります。各地に足を運んでいただき、皆さんの目で、それを探し発見していただければ、きっと新しい魅力的な緑の写真作品が出来上がると考えています。是非とも、頑張って写真撮影を続けていただき、次回も応募をしていただきたいと願っております。



ひろげよう 育てよう みどりの都市

主催

京都府都市計画協会

後援

京都府市長会、京都府町村会、
京都新聞、KBS 京都、
エフエム京都、NHK 京都放送局

共催

京都府、京都市、
(公財) 京都府公園公社、
(公財) 京都市都市緑化協会、
(一社) 京都造園建設業協会

協賛

京都府造園組合連合会、
(一社) 日本造園建設業協会京都府支部、
(一財) 日本造園修景協会京都府支部、
京都写真家協会 (順不同)

第 33 回京都まちとみどり写真コンクール入選作品集 平成 29 年 12 月発行
発行・編集／京都府都市計画協会、(公財) 京都市都市緑化協会 印刷／新日本プロセス株式会社

